

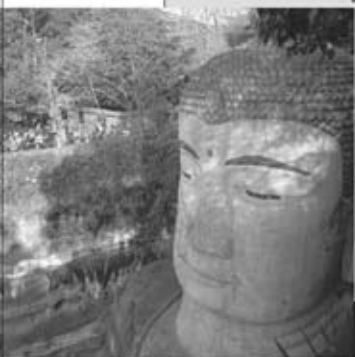
四川名所ガイド

(四川旅游指南)

宮崎眞一 編著



四川大学出版社



责任编辑:黄新路
责任校对:车小平
封面设计:米茄设计工作室
责任印制:李平

图书在版编目(CIP)数据

四川旅游指南:日文/(日)宫崎真一编著. —成都:
四川大学出版社, 2009. 8

ISBN 978-7-5614-4543-3

I. 四… II. 宫… III. 旅游指南-四川省-日文 IV.
K928. 971

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 145011 号

书名 四川名所ガイド (四川旅游指南)

编 著 宫崎真一
出 版 四川大学出版社
地 址 成都市一环路南一段 24 号 (610065)
发 行 四川大学出版社
书 号 ISBN 978-7-5614-4543-3
印 刷 四川锦祝印务有限公司
成品尺寸 128 mm×185 mm
印 张 10.75
字 数 258 千字
版 次 2009 年 8 月第 1 版
印 次 2009 年 8 月第 1 次印刷
印 数 0 001~3 000 册
定 价 1500 円

◆读者邮购本书,请与本社发行科
联系。电话:85408408/85401670/
85408023 邮政编码:610065
◆本社图书如有印装质量问题,请
寄回出版社调换。

版权所有◆侵权必究

◆网址:www.scupress.com.cn

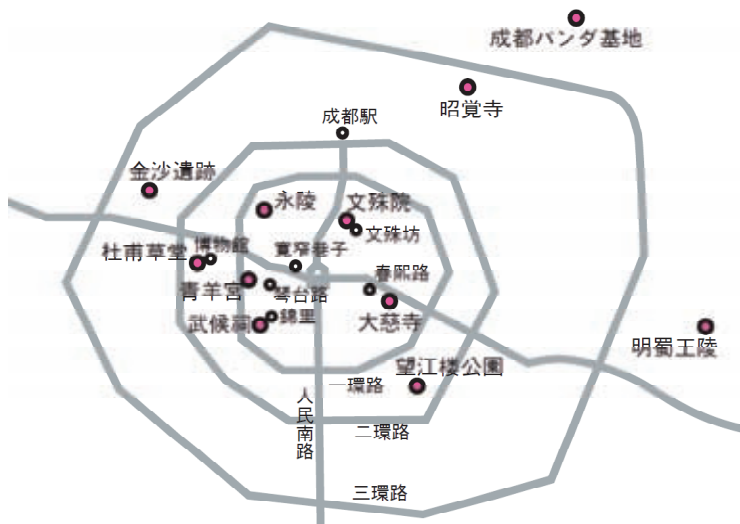


四川名所略図

中国、四川、日本对比歴史年表

	中国(全体)	中国(四川)	日本	
紀元前				
4000	仰韶文化			4000
3000				3000
2000		宝墩遺跡 (蚕叢王国?)		2000
1900				1900
1800	龍山文化			1800
1700	夏	(柏灌王国?)		1700
1600				1600
1500		三星堆遺跡		1500
1400	殷(商)	(魚凫王国)	縄文時代	1400
1300				1300
1200				1200
1100				1100
1000	西周			1000
900		(杜宇王国)		900
800				800
700	春秋			700
600		(開明王国)		600
500				500
400	戦国			400
300		316 秦		300
200	221 秦 206			200
100	前漢	前漢		100
紀元前 0		成家	弥生時代	0

	中国(全体)	中国(四川)	日本	
前400				400
	戦国	(開明王国)		
300		316 秦		300
200	221 秦	256		200
100		前漢		100
紀元後 0	8 前漢	成家	弥生時代	0
	25 新		57 倭奴国	
100		後漢		100
200	220 三国	186 劉焉劉璋劉禪		200
	280 蜀	221 蜀漢	239 邪馬台国	
300		263 成漢		300
	五胡十六国	306 東晉		
400		347 前秦		400
500		宋	古墳時代	
	南北朝	梁		500
600	589 隋	581 北周		600
	618 唐	581 隋		
700		唐	710 飛鳥時代	700
	唐	755	794 奈良時代	
900	907 五代十国	891 前蜀		900
	960	925 後蜀	平安時代	
1000		965		1000
1100	宋	宋		1100
1200	南宋 金		1192	鎌倉時代
	1260 元	1235 元		1200
1300		1371 大夏	1333	室町時代
1400			1467	
1500	明	明	1573 戦国時代	1500
			1603 安土桃山	
1600	1644	1644 大西		1600
1700		1648		1700
1800	清	清		江戸時代
1800				1800
1900	1912 中華民国		1868	
	1949 中華人民共和國	中華民国		1900
2000		中華人民共和國	現代	2000



成都市街地案内図

まえがき

四川には実に多くの名所があります。世界遺産だけでも「九寨溝きゅうさいこう」、「黄龍こうりゅう」、「峨眉山がびさん、樂山大仏らくざん」、「青城山せいじょうざん、都江堰とこうえん」、「パンダ保護区」と5カ所もあり、その他にも三星堆さんせいたい、武侯祠ぶこうし、杜甫草堂とほそうどうなどは見落とせない名所です。これらの名所はとても美しく見るだけでも価値がありますが、それぞれ歴史や文化を秘めており、その歴史や文化を理解すれば興味はさらに尽きないものがあります。このガイドブックはそれらの名所の詳しい案内書です。

筆者は初めて都江堰を訪れたとき、それが古代の水利施設であり世界遺産であることはもちろん知っていたのですが、都江堰のどこが世界遺産になるほどすばらしいのかさっぱり分かりませんでした。その後本を読み知識を得て3回目に行ったときにようやくそのすばらしさが分かり感動しました。日本から来られるお客様は時間が少ないこともあり、私が初めて訪れたときと同じようによく分からないまま帰るのではないかと思うととても残念な気持ちになりました。その後四川の名所を何度か訪れ、そのすばらしさをよく知るにつれて、自分でガイドブックを書いてみたいと思うようになりました。

幸い筆者は仕事の関係で四川には何度も訪れる機会を持ち、その後四川大学に留学する機会も持ちました。四川では多くの中国人の先生方や友人達と交流する機会を得、知識も深まりました。このガイドブックはその一つの成果です。このガ

イドブックによって日本から来られた皆様が四川を理解して下さり、四川の魅力を感じて下されば、これに過ぎた喜びはありません。

四川と言えば四川大地震で大変な被害を被ったことは皆様ご存じのとおりです。しかし地震後一年で観光名所はほぼ復旧し、すでに観光には全く差し支えがない状態になっています。被災地は四川の観光の中心地域で、観光は被災地域の重要な産業でもあります。四川では「四川依然美麗(四川は依然美しい)」というキャッチフレーズで観光客の誘致も進めています。今では大地震の被災現場さえ観光資源となりつつあります。

大地震の時には日本の緊急救助隊が他国に先駆けて現地入りし、日本隊の被災者や遺体に対する丁寧で敬虔な態度は当地でも高く評価され、日本に対する印象が非常によくなった、と聞きます。日本からの観光客が現地の人々と親しく交流できる素地も増えました。観光は楽しみであるとともに、国際交流の最前線でもあります。観光を通して日中の交流と理解がさらに進むことを念願して止みません。

最後に四川でお世話になった先生方、友人達、いつも明るく気持ちのいい四川の皆様にお礼を申し上げます。また、四川大学出版社の黄新路さんには中国で日本語の本を出版するという大変面倒な仕事をして頂きました。記して特に感謝いたします。

2009年8月

四川省成都にて 宮崎眞一

目次

1. 都江堰	1
2. 青城山	28
3. 峨眉山	52
4. 樂山大仏	93
5. 九寨溝	103
6. 黄龍	125
7. パンダ保護区	137
8. 三星堆	147
9. 金沙遺跡	163
10. 武侯祠	168
11. 杜甫草堂	182
12. 青羊宮	199
13. 文殊院	206
14. 大慈寺	211
15. 昭覺寺	215
16. 宝光寺	223
17. 望江楼公園	232
18. 永陵	237
19. 明蜀王陵	243
20. 洛帶古鎮と龍泉駅	251
21. 黄龍溪古鎮	260
22. 平樂古鎮	265

23. 成都の街	269
(1) 現代の成都	269
(2) 春熙路	271
(3) 琴台路	273
(4) 寛巷子、窄巷子	276
(5) 錦里	277
(6) 文殊坊	280
(7) 骨董街	282
(8) 四川博物院	284
24. 四川の地理	286
25. 四川の歴史	289
26. 四川の文化	309
(1) 川劇(せんげき)	309
(2) 四川料理	311
(3) お茶	313
(4) 酒	314
27. 道教について	315
28. 四川大地震	324
参考文献	329

1. 都江堰 とこうえん



ほうびんこう ふくりゅうかん
宝瓶口と伏龍観

宝瓶口で取り込まれた豊かな灌漑用水は成都平野を潤します。

(1) はじめに

とこうえん
都江堰は紀元前256年に作られた古代の水利施設です。洪水の防止、灌漑、水運などの機能を持ち、成都平野を「天府の国」と呼ばれる豊かな土地に変えました。都江堰には建設者である李氷を祭った二王廟や伏龍観などの古い建物があり、川の流れる山に緑が映える美しい景勝地です。しかし、都江堰の最大の特徴は、ダムや高い堤防などを使わず自然の地形を巧みに利用した水利施設だということです。自然そのまま

のように見えるので、初めてここを訪れた人は、ただ普通に流れる川があるだけでどこにそんな水利施設があるのか分からないくらいです。それにも係わらず都江堰の仕組みは驚くほど科学的で、水利施設が必要とする重要な機能を全て備えています。その上この紀元前の水利施設は今でも利用され成都平野を潤し続けています。都江堰では自然の開発利用と環境保護とがみごとに調和しており、地球環境危機の現代において持続可能な発展の道を示す、先人の残してくれた智慧の遺産なのです。現代に生き未来にも生きなければならない我々にとって、都江堰は世界中の多くの世界遺産の中でも最も価値ある遺産の一つではないでしょうか。



みんこう　こんごうてい
岷江と金剛堤(中州)

都江堰を紹介するに当たって、まず四川大地震のことについて触れざるをえません。2008年5月12日の午後に発生した四川大地震は死者と行方不明を合わせると9万人近くに上る甚大な被害をもたらしましたが、その震源地は都江堰からわずか20～30kmしか離れていません。都江堰の古い建物もひどい破

1. 都江堰

損を受けました。しかしこの大地震によっても都江堰の水利施設としての機能は傷ついていませんし、その価値はいささかも減ってはいません。都江堰はこれまで2250年の間にも様々な天災や人災に遭い、壊滅的な被害を受けたことが何回もありましたが、その都度復旧し続けられて成都平野を潤してきました。今回もまた一つの大きな歴史が刻まれましたが、この震災も乗り越えたことは間違いありません。

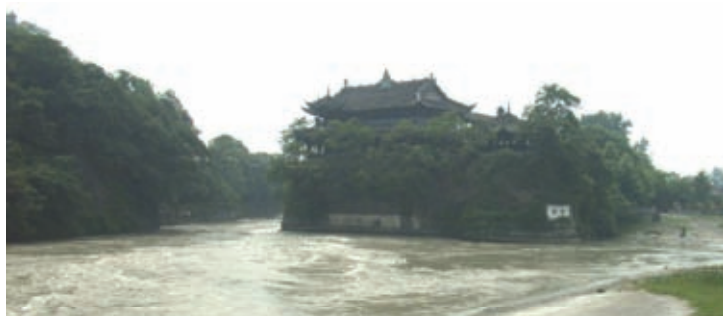
(2) 概要と歴史

都江堰は成都市街の北西60kmのところにあります。岷江本流からの取水施設が都江堰です。水利施設の全体システムとしては、この取水施設の下流に大小の用水路が成都平野全体に網目状に広がっています。関東平野の半分くらいの広さがある成都平野を岷江が流れていますが、その上流は岷山山脈と呼ばれるチベット高原につながる険しい山岳地帯で、岷江が山岳地帯を抜けて成都平野に入ると巨大な扇状地を作っています。その扇の要の位置に都江堰があります。都江堰から取水された豊富な水は扇状地のごくゆるい傾斜に沿って扇の骨のように広がる用水路を流れ、成都平野全体を潤しています。都江堰が建設される前の成都平野は水害と干害に悩まされていましたが、都江堰ができて以来成都平野は天災のない豊かな農業地帯となりました。東晋の西暦347年に書かれた歴史書である『華陽国志』には、「水害も干害も人に従い飢饉を知らず。荒れた年はなく人はここを天府という。」と書かれています。

四川は古くは蜀と呼ばれ、三星堆遺跡を代表とする古蜀王国が栄えていましたが、紀元前316年に秦により滅ぼされて秦

の領土となり、秦の蜀郡守しよくぐんしゆである李冰りひようによって紀元前256年に都江堰が作られました。そもそも秦王は蜀の地を豊かにして、天下を争うための食糧や兵員供給の後方基地とするために都江堰を作らせたのです。その結果秦は強国となり、紀元前221年の秦の始皇帝の天下統一につながったとされています。

その後も都江堰は三国志の蜀の丞じようしやう相諸葛孔明しよかつこうめいを始め、各時代の蜀の為政者に重視され、常に補修管理や拡張が続けられて現在に至っています。古代ローマの水道と同じくらい古い紀元前の水利施設が今に至るまで人々を潤し続けていることは世界の奇跡です。現代中国の著名な文筆家である余秋雨よしゆううは、「中国の歴史上で最も感動させられる建造物は万里の長城ではなく、それはまさに都江堰である。」と書いており、この考え方は中国で広まりつつあります。2000年に青城山せいじやうさんと共に世界文化遺産に登録されました。



宝瓶口と離堆に建つ伏龍觀(大地震前)

1. 都江堰



都江堰の全景

- 川の中州が金剛堤。手前の流れが内江、中州の向こうの流れが外江。
- 写真の左端に宝瓶口がある。金剛堤の左端が飛沙堰、金剛堤の右端が魚嘴。
- 中州に架かるのが安瀾橋